

# 甲斐市 議会だより



『ここで、ひと休み。』（平成22年1月10日撮影）

撮影者：下原香織さん（長塚） 撮影場所：ドラゴンパーク

## 今号の見どころ

● 第4回定例会	2ページ
● 第3回臨時会	6ページ
● 定例会・臨時会の審査結果	7ページ
● ここが聞きたい一般質問	10ページ
● 市民の声・議会傍聴記	24ページ



KAI City

# 12月補正予算 一般会計を3億9,348万円増額

## ● 一般会計補正予算

### ● おもな歳入（財源）

国庫補助金・負担金	1億1,746万円
県補助金・負担金	1億3,500万円
前年度繰越金	9,952万円
諸収入（その他の補助金・負担金）	4,150万円

12月一般会計補正予算は、国庫支出金、前年度繰越金、諸収入を財源に、新型インフルエンザ予防接種費用助成事業や敷島地区の懸案であった「漆戸橋」改良事業、幹線道路整備事業などの増額補正と職員等の人件費や竜王駅周辺整備事業などの減額補正が提出され、採決の結果、賛成多数で可決しました。

### ● おもな歳出（使いみち） ※青字と△は減額

民生費	職員人件費の減額、自立支援給付費・重度心身障害者医療費・介護保険特別会計繰出金の増額 ほか	2億3,336万円
総務費	職員人件費・コミュニティ助成事業の増額 ほか	8,594万円
農林水産業費	職員人件費の減額、敷島地区「漆戸橋」改良工事費の増額 ほか	8,025万円
衛生費	職員人件費の減額、新型インフルエンザ予防接種費用助成金・峡北ごみ処理場負担金の増額 ほか	6,110万円
消防費	甲府地区・峡北地区の消防負担金の増額 ほか	1,914万円
労働費	職員人件費の減額	△7万円
議会費	議員報酬・職員人件費の減額	△337万円
商工費	職員人件費の減額	△451万円
教育費	職員人件費の減額、小中学校教室改修費の増額 ほか	△2,961万円
土木費	職員人件費・竜王駅周辺整備事業費の減額、幹線道路整備費の増額 ほか	△4,875万円

## 補正予算のおもな事業

### ● 新型インフルエンザ予防接種費用助成事業ほか 6,296万円（新規）

- ◆ ワクチン接種費用の助成
  - ・ 1歳から小学校6年生までの初回分の助成
  - ・ 優先接種対象者のうち生活保護世帯と市民税非課税世帯への助成
- ◆ 小中学校への空気清浄機（加湿機能付き）増設（113台）

### ● コミュニティ助成事業 1,490万円（新規）

- ◆ 中八幡区の公会堂整備への助成金

### ● 「漆戸橋」改良事業 8,533万円（新規）

- ◆ 架け替えに係る実施設計料・工事費

### ● 幹線道路整備事業 8,000万円（追加）

- ◆ 市道開発1号線に係る用地費・補償費

### ● 特別会計補正予算 ※△は減額

国民健康保険特別会計	7,018万円
後期高齢者医療特別会計	259万円
介護保険特別会計	2億5,818万円
介護サービス特別会計	△140万円
下水道事業特別会計	318万円
水道事業会計	△409万円

## 議案 修正可決 甲斐市保健福祉センター 条例の一部を改正する条例の修正可決

この条例改正は、竜王保健福祉センターの開館時間の延長と敷島保健福祉センターの開館時間・利用時間の延長および歩行浴プール・軽運動室の使用料の改定内容でありましたが、厚生環境常任委員会から原案の使用料改定について「修正案」が提出され、本会議において採決の結果、賛成多数で修正可決しました。（平成22年4月1日から施行）

### 賛成24・反対2で可決

#### 賛成討論

▶ 坂本 一之 議員

##### おもな賛成理由

施設の利用実態にかんがみ、敷島保健福祉センターの歩行浴プール・軽運動室の利用時間を1時間延長することに併せて、使用料を改定して、受益者負担の公平性を維持し、かつ利用者の利便性の向上を図るための改正である。また、身体障害者の使用料は「改正原案」では150円であるが、「修正案」は現状通りの使用料（50円）を維持するものである。今後、より一層の福祉の増進と利用者サービスの向上を要望し賛成する。

#### 反対討論

▶ 鈴木 昇 議員

##### おもな反対理由

利用時間を若干延長しつつも、使用料を1.5倍から2倍に引き上げるもので、引き上げ理由は時間延長による人件費と近傍同施設との均衡を図るなどの説明であるが、現状の経済状況を考慮すると福祉的健康施設の引き上げには、慎重を期するべきである。また、本施設が指定管理者導入を検討すべき施設であることを勘案すると今後、この制度を導入するためのものであり賛成できない。

### ● 敷島保健福祉センターの「歩行浴プール・軽運動室」の使用料の改正内容

区分	改正前		改正原案		改正後（修正可決）
1人1回につき	市内	100円	市内	68歳未満 200円	200円
				68歳以上 150円	150円
	市外	200円	市外	400円	400円
	身体障害者手帳持参者（※）	50円	身体障害者手帳持参者	150円	50円
回数券	100円券11枚	1,000円	200円券11枚	2,000円	2,000円
			150円券11枚	1,500円	1,500円

※改正前の身体障害者手帳持参者の使用料は、使用料減額免除により50円となっていた。

### ● 保健福祉センターの「開館および利用時間」の改正内容

	施設名	改正前	改正後（原案可決）
開館時間	竜王保健福祉センター	午前8時30分から午後5時15分まで	午前8時30分から午後5時30分まで
	敷島保健福祉センター	午前8時30分から午後5時15分まで	午前8時30分から午後5時30分まで
	双葉保健福祉センター	午前8時30分から午後10時まで	左 同
利用時間	敷島保健福祉センター（歩行浴プール・軽運動室）	午前9時から午後8時まで	午前9時から午後9時まで
	双葉保健福祉センター（ミーティング室、和室 ほか）	午前8時30分から午後10時まで	左 同

# 平成21年 第4回定例会

平成21年第4回定例会は、12月11日（金）から18日（金）の8日間の会期で開かれました。今定例会では、条例の一部改正、補正予算などの議案が提出され審議の結果、一部を除き原案のとおり可決しました。

## 請願審査結果

### 改正貸金業法の早期完全施行等を求める請願書を採択しました。

#### 【請願者】

山梨県司法書士会 会長 宮澤 伯夫  
日本司法書士政治連盟山梨会 会長 中山 健夫  
山梨県青年司法書士協議会 幹事長 白壁 英仁

#### 【紹介議員】

小浦宗光、清水富貴雄、藤原正夫

## 意見書

### 改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書

【12月25日、議会から国へ提出】

#### （要約）

経済・生活苦での自殺者が年間7千人に達し、自己破産者も18万人を超え、多重債務者が200万人を超えるなどの深刻な多重債務問題を解決するため、2006年12月に改正貸金業法が成立し、段階的施行を重ね、最終段階である「出資法の上限金利の引き下げ」と「収入の3分の1を超える過剰貸付契約の禁止」等が、2010年6月までに完全施行される予定である。

改正貸金業法成立後、政府は多重債務者対策本部を設置し、官民が連携して多重債務対策に取り組んできた結果、多重債務者が大幅に減少し、2008年の自己破産者数も13万人を切るなど確実に成果をあげている。

しかし、一部には、同法の完全施行の延期や貸金業者に対する規制の緩和を求める論調があるが、先延ばしや規制緩和は、再び自殺者や自己破産者、

多重債務者の急増を招きかねず、許されるべきではない。

そこで、今般設置された消費者庁の所管となる地方消費者行政の充実および多重債務問題が喫緊の課題であることも踏まえ、国に対し以下の施策を求める。

1. 改正貸金業法を早期に完全施行すること。
2. 自治体での多重債務相談体制の整備のため相談員の人件費を含む予算を十分確保するなど相談窓口の拡充を支援すること。
3. 個人及び中小事業者向けのセーフティネット貸付をさらに充実させること。
4. ヤミ金融を徹底的に摘発すること。

#### 【提出先】

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣 ほか

### 「子どもたちの生命を守るため、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの公費助成、定期接種化を求める請願書」は継続審査となりました。

## 定例会人事

人権擁護委員の任期満了（平成22年3月31日）にともない、田中慶子氏（再任）の推薦に対し適任であると決定しました。【本委員は、市長が議会の意見を聞いて、法務大臣に候補者を推薦しなければならない。】

## 指定管理者の指定

# 玉幡公園総合屋内プールの指定管理者が (株)フィッツに決定

指定管理者の導入は、民間のノウハウを活用し住民サービスの向上と経費削減を図るためのものです。

現在、市が実施している自由参加型レッスンの継続実施と指定管理者が企画する自主事業が行われ利用者サービスの向上が図られます。また、(株)フィッツは、昨年4月から敷島・双葉のB&G海洋センターの指定管理者となっており、3つのプール施設と連携をとり、さらなる市民サービスの向上が期待されます。なお、施設使用料は、これまでと同額で利用可能です。



Kai・遊・パーク 玉幡公園総合屋内プール

#### ●指定管理者

株式会社フィッツ（甲斐市玉川）

#### ●指定期間

平成22年4月～平成25年3月

## 条例の制定

### 「竜王駅前広場の設置及び管理に関する条例」の制定

- 竜王駅前広場の供用開始（平成22年3月27日予定）のための条例が制定されました。この条例により駅前広場の短時間駐車場や駐輪場などの使用料が決定しました。

種別	使用料（1台分）
短時間 駐車場	入場1回につき、 初めの60分間は、無料 60分を超える時間30分ごと、200円
駐輪場	無料

## 条例の改正

### 介護保険料と後期高齢者医療保険料の延滞金を軽減するため、条例が改正されました。

- 甲斐市介護保険条例
- 甲斐市後期高齢者医療に関する条例

## 規約の変更

### 平成22年3月に増穂町と鯉沢町が合併し富士川町が誕生するため、組合等の規約が変更されました。

- 山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合格約
- 山梨県後期高齢者医療広域連合格約
- 中巨摩地区広域事務組合格約

平成21年 第4回 定例会 議案審査結果 平成21年12月11日・18日

採決により修正可決された議案（賛成多数）

○…賛成 ×…反対

議案番号	議案名	甲斐クラブ (15人)	甲斐市民クラブ (7人)	公明党 (3人)	日本共産党 甲斐市議団 (2人)	無所属 (1人)
議案第58号	甲斐市保健福祉センター条例の一部改正の件	○	○	○	×	○

採決により原案可決された議案（賛成多数）

○…賛成 ×…反対

議案番号	議案名	甲斐クラブ (15人)	甲斐市民クラブ (7人)	公明党 (3人)	日本共産党 甲斐市議団 (2人)	無所属 (1人)
議案第61号	平成21年度甲斐市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	×	○
議案第62号	平成21年度甲斐市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	×	○
議案第64号	平成21年度甲斐市介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	×	○
議案第65号	平成21年度甲斐市介護サービス特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	×	○
議案第66号	平成21年度甲斐市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	×	○
議案第67号	平成21年度甲斐市水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	×	○
議案第68号	指定管理者の指定の件	○	○	○	×	○
議案第69号	市道路線認定の件	○	○2・×5	○	×	○

異議なしで原案可決・採択された議案（全会一致）

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議案第54号	山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更の協議の件	議案第63号	平成21年度甲斐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
議案第55号	山梨県後期高齢者医療広域連合規約の変更の協議の件	議案第70号	平成21年度甲斐市一般会計補正予算（第4号）
議案第56号	中巨摩地区広域事務組合規約の変更の協議の件	請願第21-3号	改正貸金業法の早期完全施行等を求める請願書
議案第57号	竜王駅前広場の設置及び管理に関する条例の制定の件	意 第 5 号	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書の提出について
議案第59号	甲斐市後期高齢者医療に関する条例の一部改正の件	諮問第 6 号	人権擁護委員候補者の推薦の件
議案第60号	甲斐市介護保険条例の一部改正の件		

平成21年 第3回 臨時会 議案審査結果 平成21年11月25日

採決により原案可決された議案（賛成多数）

○…賛成 ×…反対

議案番号	議案名	甲斐クラブ (15人)	甲斐市民クラブ (7人)	公明党 (3人)	日本共産党 甲斐市議団 (2人)	無所属 (1人)
議案第50号	甲斐市職員給与条例の一部改正の件	○	○6・×1	○	×	○
議案第51号	甲斐市役所竜王庁舎増築建築主体工事請負契約締結の件	○	○4・×3	○	×	×

異議なしで原案可決された議案（全会一致）

議案番号	議案名	議案番号	議案名
議案第47号	甲斐市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正の件	議案第52号	甲斐市役所竜王庁舎増築電気設備工事請負契約締結の件
議案第48号	甲斐市の市長及び副市長の給与等に関する条例の一部改正の件	議案第53号	甲斐市役所竜王庁舎増築機械設備工事請負契約締結の件
議案第49号	甲斐市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正の件		

6月と12月のボーナスで  
総額約6,000万円を削減

▶ 議会議員、市長、副市長、教育長、職員の期末手当などの引き下げを可決

平成21年度の人事院勧告に基づき、職員の月給を0.2～0.3%引き下げ、また、議会議員、市長、副市長、教育長、職員の諸手当（期末・勤勉手当）の年間支給率を引き下げる条例改正議案4件を可決しました。

項目	①改正前 (年間支給率)	②改正後 (年間支給率)	①-② 引き下げ月数
議会議員 (期末手当)	3.35か月	3.10か月	0.25か月
市長・副市長・ 教育長(期末手当)	4.45か月	4.10か月	0.35か月
職員 (期末・勤勉手当)	4.50か月	4.15か月	0.35か月

総額17億5,381万5千円の  
工事請負契約を締結

▶ 甲斐市役所竜王庁舎増築工事の請負契約を可決

竜王庁舎増築工事に係る3つの工事の入札が11月12日に行われ、11月16日に仮契約が結ばれました。これに対し、工事請負契約締結の議案3件を可決しました。

工事内容	予定価格(税込)	契約金額(税込)	契約の相手
建築主体 工事	14億1,753万1千円	14億 679万0千円	早野組・長田組土木・昭和建設工業 共同企業体
電機設備 工事	1億9,242万3千円	1億8,270万0千円	伸電工業・ヨツヤ電気・小笠原電気 工業 共同企業体
機械設備 工事	1億7,305万0千円	1億6,432万5千円	明和工業・山梨相互工業・佐藤設備 共同企業体

※予定価格とは…地方公共団体が契約を締結する際、その契約金額を決定する基準として長があらかじめ作成する価格。なお、支出の契約は予定価格を上回る額で契約を締結することができない。

平成21年  
第3回臨時会

平成21年第3回臨時会は、11月25日(水)の1日間の会期で開かれました。  
今臨時会では、「甲斐市職員給与条例の一部を改正する条例」をはじめ提出された7つの議案を慎重に審査し、すべて原案のとおり可決しました。

議会内会派の構成

(平成21年4月1日現在)

- 甲斐クラブ(15人)  
会長 清水富貴雄  
副会長 河野勝彦  
副会長 花田直人  
幹事長 小浦宗光  
込山伸一 坂本一之  
有泉庸一郎 猪股尚彦  
山本英俊 内藤久歳  
藤原正夫 清水喜代栄  
小宮山長庚 赤澤寛吉  
金丸毅
- 甲斐市民クラブ(7人)  
会長 森田稔  
副会長 小林守  
幹事長 中込雄  
池神哲子 今村正城  
島田利彦 仲田博司
- 公明党(3人)  
代表 保坂芳子  
副代表 名取國士  
家光 由里
- 日本共産党甲斐市議団(2人)  
団長 鈴木昇  
副団長 樋泉 明広
- 無所属(1人)  
保坂恒光

# 建設経済常任委員会

2月4日開催

## ▶ 竜王赤坂地区活性化事業「ミニトマト」の水耕栽培施設の整備に着手

9月に補正を行った本事業は、竜王赤坂地区（赤坂台総合公園周辺）の未利用地を活用して水耕栽培用施設を整備し、赤坂台地の「赤」にちなんだ野菜「ミニトマト」のブランド化や産地化（特産化）により、地域活性化や雇用対策など農業振興を図るものです。

委員会当日は、平成22年7月までに施設整備を行い、「トマト」の収穫を11月に予定するなどの工事や事業の概要説明を受けました。

これに対して、委員会からは、「トマトの生産量」や「雇用の促進」に関する質疑、「着実な事業展開」などの要望を行いました。

### 当日の委員会内容

- 竜王赤坂地区活性化事業
- 塩崎駅周辺整備事業

### 事業概要

- ◆ **実施場所**  
赤坂台総合公園（ドラゴンパーク）西側
- ◆ **事業内容**  
・ハウス施設、養液栽培施設、農道整備、造成工事ほか（平成21～22年度）  
・土層改良（平成22～23年度）
- ◆ **事業費**  
8,180万円（平成21～23年度分）
- ◆ **事業運営**  
竜王赤坂地区活性化協議会
- ◆ **トマトの生産**  
（有）小林牧場（農業生産法人）
- ◆ **事業目的**  
「ミニトマト」のブランド化、販路拡大、担い手の育成・確保（農業者の定住促進）による地域活性化



教育委員との意見交換会の様子

# 総務教育常任委員会

2月5日開催

## ▼ 教育委員との意見交換会を開催

議会活性化の一環として、教育委員との意見交換会が開催され、「教育の現状と課題等について」をテーマに、活発な意見が交わられました。主な内容は、「幼児期の人間形成の重要性」や、「地域と教育委員との関わり」

り、「教育は、学校・家庭・地域の機能が必要であり、地域として、どのような取り組みができるのか」などの問題提起がありました。また、「幼児教育との連携について、教育委員会で議論を進めること」への要望や、「議会のサポートについて」の意見が出されました。今回出された貴重な意見につきましては、これからの委員会活動の参考とするともに、今後も意見交換を続けていきたいと考えています。

### 当日の委員会内容

- 意見交換会
- 市文化財の指定
- 甲斐市組織機構改革
- 甲斐市空き家バンク制度
- 第2次甲斐ヒューマンプラン（案）
- 甲斐市男女共同参画推進条例（案）
- 甲斐市土地開発基金

# 厚生環境常任委員会

1月22日開催

## ▶ 民生委員（児童委員）との意見交換会を開催

市が子育てに関する「次世代育成支援後期行動計画」のパブリックコメントを募集していることから、本委員会では、甲斐市民生委員児童委員協議会の役員のみなさんと「甲斐市の子育て支援策」について、意見交換を行いました。

当日は、渡邊明子会長をはじめ、10名の役員の方々からご意見を伺いました。民生委員さんからの主なものは、民生委員と小中学校の連携強化や保育サービス・学童保育の充実、保育料の軽減や子ども医療費の中学生までの

拡充など様々なご意見がありました。最後に赤澤委員長から、今後、議会から市当局への「子育て支援策」に対する提言などの際に参考とさせていただくことを申し上げ、意見交換会は閉会されました。



3月末完成予定の（仮称）竜王ふれあい館（児童館）

### 当日の委員会内容

- 意見交換会
- 障害福祉事業の見直し
- 次世代育成支援後期行動計画（案）

今回は、1月・2月に行われた各常任委員会の内容を抜粋してお知らせします。

## 議会のうごき

- |  |  |  |                                |
|--|--|--|--------------------------------|
| <p>19日 ● 議会運営委員会</p> <p>18日 ● 議会全員協議会</p> <p>17日 ● 県後期高齢者医療広域連合議会</p> <p>10日 ● 山梨県市議会議長会議員合同研修会</p> <p>9日 ● 議会だより編集委員会</p> <p>5日 ● 総務教育常任委員会</p> <p>4日 ● 建設経済常任委員会</p> <p>1日 ● 議会全員協議会</p> | <p>2月</p> <p>25日 ● 議会だより編集委員会</p> <p>22日 ● 厚生環境常任委員会</p> <p>19日 ● 議会運営委員会</p> <p>14日 ● 議会常任委員会</p> <p>12日 ● 議会だより編集委員会</p> <p>11日 ● 総務教育常任委員会</p> <p>11日 ● 第4回定例会</p> <p>24日 ● 甲府地区広域行政事務組合定例会</p> <p>25日 ● 中巨摩地区広域事務組合定例会</p> | <p>12月</p> <p>1日 ● 建設経済常任委員会</p> <p>2日 ● 議会運営委員会</p> <p>30日 ● 山梨県市町村自治センター議会</p> <p>27日 ● 総務教育常任委員会</p> <p>26日 ● 中巨摩地区広域事務組合臨時会</p> <p>26日 ● 甲斐市議員研修会</p> <p>25日 ● 厚生環境常任委員会</p> | <p>11月</p> <p>25日 ● 第3回臨時会</p> |
|--|--|--|--------------------------------|



### 人口減少に向けた地域戦略の策定を

**市長**▶ 市政に対する市民参加を推進し、持続可能なまちづくりの構築を図る

**込山** 少子化対策について、子育ての社会環境整備や経済的支援の充実を。

**市長** 各種保育サービスや放課後児童対策など様々な事業を推進している。また、経済支援は多額の経費を要するので、長期的な視点に立って課題に対応する。

**込山** 本市の私立幼稚園の就園奨励費（経済支援）は、現在、国基準より大幅に低い助成であるが、今後の充実は。

**教育長** 新政権での奨励費の見直しの動向を見ながら、改善に努力していきたい。

**込山** 地方分権型のコンパクトシティ（都市機能をコンパクトに集中した小規模な都市）の実現のため、行政コスト負担を中・長期的に試算しているか。

**企画部長** 現在、試算は行っていないが、指定管理者の導入や事務事業評価により削減を図り、将来負担増の抑制に努めている。

**込山** 「いつでも、どこでも、誰でも」情報が得られる「ユビキタス社会」の実現に向けたICT（情報通信技術）の進展を。

**市長** 新たな観光用ホームページの開設や医療・福祉・防災など情報提供の充実を検討する。

**込山** 生産者が見える特産物の販売をJAや商工会と連携し、ICTを活用した販路の拡大を。

**環境経済部長** 観光用ホームページで、農産物・特産品等を今後、積極的にPRしていく。



楽しく遊ぶ園児たち（しきしま幼稚園）

**市長** 現在、行政の課題などを職員によるプロジェクトチームを組織し協議検討を行っている。必要に応じて研究組織を立ち上げるなど引き続き柔軟な対応を図る。

**市長** 市民提案制度は、平成22年度以降に創設するとともに、引き続きパブリックコメントの実施など開かれた行政運営を目指す。

**込山** 職員の意識改革や、景気低迷、地域格差など市政課題への対応として、職員による政策提案制度の実施を。

**込山** 市民が具体的な政策等を市に提案することができ、市民政策提案の実施を。

### 市長▶来年度以降に「市民提案制度」を創設する

### 政策提案制度の実施を

## 『一問一答方式』

## 12人の議員が市政を問う！

込山 伸一 議員	甲斐クラブ	11ページ
名取 國士 議員	公明党	12ページ
有泉 庸一郎 議員	甲斐クラブ	13ページ
鈴木 昇 議員	日本共産党甲斐市議団	14ページ
内藤 久歳 議員	甲斐クラブ	15ページ
家光 由里 議員	公明党	16ページ
池神 哲子 議員	甲斐市民クラブ	17ページ
山本 英俊 議員	甲斐クラブ	18ページ
坂本 一之 議員	甲斐クラブ	19ページ
樋泉 明広 議員	日本共産党甲斐市議団	20ページ
保坂 恒光 議員	無所属	21ページ
保坂 芳子 議員	公明党	22ページ



第4回定例会の様子

ここが聞きたい

一般質問

（通告順・要約）

20号から掲載方法を変えてお伝えしています。



有泉 庸一郎 議員  
甲斐クラブ

### 南アルプス市からの竜王駅・塩崎駅への 路線バス運行に対する協議の状況は

**市長**▶ 本市も南アルプス市の協議会へ参画しており、両駅の活性化や南アルプス市への通学や通勤者の利便性向上を期待している

**有泉** 南アルプス市では、来年度から竜王駅および塩崎駅を結ぶ路線バスの運行が実施されるとの報道があるが、本市との協議等の状況は。

**市長** 現在、南アルプス市も本市と同様に地域公共交通活性化協議会が設置され、来年度から実証運行を予定している。

本市も南アルプス市の協議会へ参画しており、春仙美術館を発着点に竜王・塩崎の両駅、JR身延線の小井川駅を結ぶ3路線が計画されている。

### 国道・県道・市道への自転車専用レーンの設置を

**市長**▶ 歩行者の安全を守るため、まずは歩道設置を優先する

**名取** 国土交通省は、自転車を使って安全に通勤や買い物ができるまちづくりを進めている。車の利用を控え、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排気量を削減し、自転車と車・歩行者との事故減少にもつながる自転車専用道や駐輪場の整備などに力を入れているが、本市でも国道、県道、市道の一部をカラー舗装して自転車専用レーンを設置するよう国、県へ働きかけをされたい。

**市長** 自転車専用レーンは、広い道路幅員を必要とし、県内の道路には設置されていない現状である。国道、県道への設置の働きかけは、自転車利用者の安全性や設置条件などを調査し、関係機関と協議する考えである。

また、市道は道路幅員も狭く、歩行者の安全を守るための歩道設置の要望が多くあるので、まずは歩道設置を優先しなければならないと考えている。



片側1.5mから両側2.5mへ歩道整備が行われる「市道開発1号線歩道設置(道路拡幅)事業」



名取 國士 議員  
公明党

### ペット同行の 総合防災訓練の実施を

**市長**▶ 今後、自主防災組織と協議を行いペットの避難スペースを確保するなど計画したい

**名取** 甲斐市では、毎年秋に総合防災訓練を実施しているが、ペットを同行した避難訓練は行っていない。災害時には、人命救助が最優先であることは当然だが、犬、猫などのペットを家族の一員として生活をしている人も多いことからペット同行の避難訓練を実施されたい。

**市長** これまでの避難訓練は、市民を中心とし特設ペットの対策は講じていないが、災害時には、ペットと一緒に避難するケースも想定されるので、今後は自主防災組織とも協議を行い、ペットの避難スペースを確保するなど計画したいと考える。

### 塩崎駅周辺整備の進捗は

**市長**▶ 関係者と連携を図り整備内容を検討する

**有泉** 塩崎駅周辺整備の当初計画は頓挫しているが、現在の進捗状況は。

**市長** これまで、地域へいくつかの整備構想を説明した経緯がある。今後は、地域の意向や駅利用者の要望等を把握し関係者と連携を図りながら利便性を高めるための改善策を検討する。



周辺整備が検討されているJR塩崎駅

### 「ふるさと山梨道徳教育推進事業」の成果を生かした 道徳教育を

**教育長**▶ 地域とともに歩む教育活動推進事業として取り組む

**有泉** 双葉中学校区の「ふるさと山梨道徳教育推進事業」は、今年度で3か年の事業期間が終了するが、この事業成果を市内小中学校の道徳教育に生かす具体的な計画は。

**教育長** 現在策定中の「創甲斐教育推進大綱」の道徳教育の推進施策で「地域とともに歩む教育活動推進事業」として、小中の研究実践校を新たに指定し、家庭・地域・学校の連携を進め、あ

さつ運動や地域との協働活動などを通して、人と人とのかわり合いを進める特色ある教育環境づくりを進めていく予定である。

### 保育制度の後退(最低基準の緩和)に対する見解は

**市長**▶待機児童が多い都市部に限るもので、本市には影響はない

**鈴木** 新政権のもとで「地方分権」、「待機児童解消」の名で子どもへの命と発達を守り、女性の働く条件として欠かすことのできない保育所の最低基準を緩和し、待機児童が多い都市部では、保育室の面積基準を自治体に委ねるなどの方針は、まさに子どもより財政優先以外の何物でもなく、政治の責任放棄であると思いが市長の見解は。

**市長** 山梨県は、面積基準が緩和される地域から除外されており従来どおりの基準である。



鈴木 昇 議員  
日本共産党甲斐市議員

### その他の質疑

**鈴木** 徴税強化について、滞納者に対して、ごく自然に行われている「差し押さえ」に対する問題は無いのか。また、本来あるべき税の取り方についての市長の見解は。

**市長** 自主納付を尊重し、督促、催告、呼び出し、差し押さえ予告、滞納処分の手続を法に基づき行っている。また、納税は、国民の義務として自主的に納めるものである。

### 「創甲斐教育推進大綱」で将来どのような市民の育成を考えているのか

**市長**▶子どもたちが甲斐市を担う立派な大人に成長することを願う

**鈴木** 「創甲斐教育推進大綱」の内容は、国の一斉学力テストをはじめ、20近い徳目で作られた「教育の目標」が柱であるが、国が法律で命ずるとおりの教育を行うことにはならないか。また、こうした人づくりでは、本来の教育目的である「人格の完成」は可能なのか。

**教育長** 大綱は、甲斐市教育振興基本計画として、教育基本法に基づき甲斐市の子どもたちの課題を分析し策定を行っている。また、大綱で示す人間像は、人格の完成を目指すものである。



楽しい餅つき大会 (竜王西保育園)

### (仮称)志麻の里防災公園の整備計画の見直しが発生した理由は

**市長**▶事業費の抑制を目的に実施した

**鈴木** 見直し後も防災機能を十分備えた公園整備になっているのか。

**市長** 災害時には、一時避難場所としての機能を担う公園となっている。

### 市内公立保育園の耐震対策は

**市長**▶市の財政計画との調整を図りながら年次計画で進めたい

**内藤** 市内公立保育園の耐震診断を実施した結果、松島保育園、双葉西保育園を除く6園は、震度5強の地震で倒壊する危険性があり補強等が必要と判断されている。園児の大切な命を守るために、耐震対策の方針を聞く。また、松島保育園は、2階が未満児童で避難時に問題があるので、敷島庁舎跡地に敷島保育園と統合した保育所整備ができないか。

据えた対応が必要であり、市の財政計画との調整を図りながら年次計画で進めたい。また、敷島庁舎跡地の利用や保育所の統合は、関係者や地元の見解を聞きながら検討を進める。

### 敷島南小学校の校舎改修を

**教育長**▶平成22年度には設計業務に着手

**内藤** 敷島南小学校は、建設から26年が経過し校舎内の床の傷みや壁の汚れ等が目立ち、室内も暗く感じられ、特に外壁の景観は、市内の小中学校の中では最悪の状態である。児童が快適に学校生活を送れる環境の整備が望まれるが、改修の方針と計画は。

**教育長** これまで、小中学校の耐震化工事を優先して取り組んできたが、平成22年度までには、すべての整備が完了する見込みであり、敷島南小学校の改修は、来年度には外壁、内部の改修工事の設計業務に着手したい。



内藤 久歳 議員  
甲斐クラブ

**市長** 今後、幼保一元化などの課題や保育需要を的確に把握し、将来を見



増発が望まれる「特急かいじ」

### 竜王駅発着の「特急かいじ」の増発を

**市長**▶現在の利用状況や在来線とのダイヤ調整が課題

**内藤** 竜王駅の南北駅前広場は、平成22年度より供用開始の予定であり、周辺道路を含め全面供用開始を機に「特急かいじ」の増発について市民や利用者の間では、ニーズと期待感が高まっているが、増発に係る協議の進展は。

**市長** JR協議では、現在の利用状況や増発する場合のダイヤ調整が課題である。今後、公共交通の実証実験などを踏まえ、土曜日の午前9時台の臨時列車の定期列車への実現やさらなる増発要望を鋭意行う考えである。



池神 哲子 議員  
甲斐市民クラブ

### 甲斐市の人づくり政策として 30人学級の実現を

**教育長**▶学級編成は  
県教育委員会の基準で  
行うものであり難しい

**池神** 担任の先生が子どもの変化に気付くためには、30人以下の小人数学級が望まれるが進捗状況は。また、「創甲斐教育推進大綱」での具体的施策は。

**教育長** 学級編成は、都道府県教育委員会が定めた基準で行うもので、市単独で30人学級とすることはできない。また、大綱での具体的施策は、市単独、学校支援員による小人数指導の充実強化に努める考えである。

**A Q A Q A Q A Q**  
現行制度で運営を行う考えである  
介護保険税の市独自の減免制度の導入を  
利用者の立場に立ったサービス提供に努める  
公共施設は利用しやすく開放を  
地元商工会等の駅前利用を積極的に支援する  
竜王駅前で生鮮食品の移動販売を  
児童館を利用して開設可能か検討中である  
竜王地区へ「子育てひろば」の設置を

### その他の質疑

Q II 池神  
A II 市長

**池神** 現在の竜王小学校体育館は、合併時に竜王北部町民体育館から学校体育館となった。今回、耐震診断の結果、建て直す計画であるが、市民体育館の位置づけで同規模の体育館整備をされたい。

**市長** 国からの補助金等により学校体育館として整備を行うもので、アリーナは、バレーボールのコートが2面とれ面積的には若干縮小されるが、社会体育の使用に支障はないと考えている。

**市長**▶国からの補助金等により  
学校体育館として整備を行う

### 竜小体育館は市民体育館の 位置づけに戻し建て替えを

### 荒廃・遊休農地を市民農園に

**市長**▶新たな市民農園の開設を  
検討する

**池神** 荒廃・遊休農地を活用して、借りやすい市民農園の提供をされたい。

**市長** 現在、市内9カ所で293区画が開設されているが、今後、耕作放棄地を活用するため、新たな市民農園の開設を検討する考えである。



甲斐敷島梅の里ラインガルテンの「日帰り型」市民農園

### 学校給食における 食物アレルギー対応は

**教育長**▶事前に家庭へ詳細な  
原材料表の提示を行っている

**家光** 食物アレルギーなどの患者は、近年増加傾向にある。こうした中、文部科学省が監修し発行した「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」が全国の小中学校に配布され、各地で具体的な取り組みが進みつつある。本市で食物アレルギーを持つ児童・生徒は289名いるが、学校給食における対応は。また、アナフィラキシーショック（意識障害、呼吸困難など）への対応は。

る。また、除去が難しい因子の食物アレルギーを持つ児童・生徒は、保護者の協力を得る中で、家庭から弁当を持参してもらおうお願いもしている。なお、アナフィラキシーショックの対応は、速やかに医療機関へ搬送するため適切な対応を行うこととしている。



学校給食の様子（竜王小学校）



家光 由里 議員  
公明党

### ボランティア団体と市の今後のあり方は

**市長**▶地域社会を支える大きな戦力と考え、引き続き支援を行い  
活動の充実に寄与したい

**家光** 甲斐市社会福祉協議会のボランティアセンターに登録している団体は、現在、47団体、1,033名で、また、個人で活躍している方々も大勢いる。これら地域の社会福祉サービス向上のために行政とともに支え合いの精神で取り組んでいるボランティア団体と市の今後のあり方は。

**市長** 現在、多くのグループが日常的に熱心な活動を展開しており、まずもって心から敬意を表す。市では、ボランティアコーディネーターの人材育成やボランティア会員の相互のネットワーク化の推進などの充実に図り、また、地域の住民が担い手となる福祉活動も重要で研修会や交流事業などへの支援も行っている。



坂本 一之 議員  
甲斐クラブ

**市長** 協議会では、公共施設・病院・商店街などの市内を巡回する路線や竜王駅を拠点とする観光路線などの検討を行ってきた。来年の1月下旬以降、市内巡回バスと観光施設巡回バスの運行を予定している。また、現在、運行しているコミュニティバス（竜王駅から山梨大学医学部付属病院まで運行）は、敷島総合

**坂本** 市の公共交通政策に関し、平成20年度から「地域公共交通活性化協議会」で議論してきた結果は。

### 市長▶平成22年1月下旬から市内巡回バスを運行

### 市の公共交通施策の進展は

文化会館までの路線延長と新たに敷島・双葉地区の交通が不便な北部地域は、ジャンボタクシーによる運行を来年9月を目途に計画している。

**坂本** 市内巡回バスの詳細やPR方法は。

### 環境経済部長

南部（竜王・双葉）ルートと北部（敷島・双葉）ルートの2路線で1日に各ルート5便の運行計画で、停留所は、南部ルート62か所、北部ルート47か所を予定している。周知は、市ホームページや市広報紙1月号に掲載する。



市内巡回バスのPR用ポスター

## 耕作放棄地の対策や農林業への支援策は

### 市長▶「赤坂地区活性化事業」や「菜の花プロジェクト」に取り組んでいる

**坂本** 市の農林業政策での耕作放棄地の対策や農林業で生計を立てている方への支援策は。

**市長** 農家に対する支援は、米の生産調整、有機肥料購入や施設整備の助成のほか、耕作放棄地を有効活用するため耕作放棄地の再生と利用する取り組みや営農開始後のフォローアップなどの支援を耕作放棄地対策協議会が中心となって推進している。

**坂本** 市内の農林業の世帯数と所得の状況は。

**環境経済部長** 農林水産省の農林業センサスによる市内の農林業世帯は697世帯で、所得状況は、100万から300万円の世帯が129世帯、300万から500万円は26世帯、500万円以上が11世帯、1千万円以上が8世帯である。

**坂本** 若者は、新しい農業スタイルを求め農業をビジネスとして考える方もいるので、甲斐市の農業の魅力や素晴らしさを今後、アピールしていくことを要望する。

## 騒音防止対策として敷島・双葉中学校の柔剣道場への冷房設備設置を

### 教育長▶特に苦情は無く、今のところ冷房設備の設置予定は無い

**山本** 現在、市内の柔剣道場で一般開放している施設は、竜王武道館、双葉中学校柔剣道場、敷島中学校柔剣道場の3か所である。武道は、掛け声を出したり気合いを入れたり、剣道では竹刀を使い相当な音がして近隣の住民の方々へ迷惑をかけている。冬場であれば窓を閉め切って練習を行えるが、真夏はそうはいかないので以前にも同様な質問をしたが、敷島と双葉の施設にも竜王武道館と同様に冷房設備を導入されたい。

**山本** 苦情は無いという回答弁だが、それは、顧問や指導者が事前に近隣の方々に挨拶を行い、我慢をお願いしているものである。再度、設置について検討を要望する。

**教育長** 冷房設備設置は、掛け声などによる周辺住宅への騒音防止対策ということだと理解しているが、今までのところでは、周辺の状況等を調べた結果、騒音に対する苦情などは特

## 安全のため敷島中学校柔道場の畳の入れ替えを

### 教育長▶年次計画により実施する

**山本** 敷島中学校の柔道場は、開館から17年が経過しているが、一度も畳の入れ替えをしておらず、畳が固くなり、投げられたときの体に受ける衝撃は相当なものであり、事故やケガが懸念される。竜王、双葉の柔道場はスプリングの効いた施設であることから、せめて衝撃を和らげるような畳の入れ替えができないのか。

**教育長** 敷島中学校の柔道場は、床の弾力構造が他の学校と異なる状況であることは、承知している。この床そのものの構造を変えることは難しいので、年次計画により、畳の入れ替えを実施する考えである。



山本 英俊 議員  
甲斐クラブ



敷島柔道スポーツ少年団（敷島中学校柔剣道場）



保坂 恒光 議員  
無所属

### 核兵器廃絶平和都市宣言の看板設置を

市長 ▶ 竜王庁舎増築工事の完了後に設置する方針

**保坂** 本年4月、オバマ米国大統領がブラハにおいて、核兵器の無い世界に向け一緒に平和と進歩の声を高めようと呼びかけた。世界に向け核兵器を使用した唯一の核保有国であるアメリカが、核廃絶のために行動すべき道義的責任があることを認め、核兵器の無い平和で安全な世界を呼びかけ、世界各国から核廃絶に期待を寄せる声が日ごとに大きくなっている。甲斐市も核兵器廃絶平和都市の宣言をしているが、このオバマ大統領の演説を受けて、核廃絶に向けて大きく動き出した中で、平和都市宣言の市として核兵器廃絶への明確なメッセージを送るため、市長の核廃絶に向けての決意と姿勢、シンボル広告の設置について聞く。

**市長** 本市では、旧町の花を継ぎ、平成18年3月に核兵器廃絶平和都市宣言を行い各種の平和活動事業の推進に取り組んできた。私は市長として、二度とあのような忌まわしい体験を繰り返してはならないことを心に誓いながら、戦争の悲惨さやむなしさ、そして平和への尊さを新たに作る機会として、今後も次世代へ継承するために、地域に根ざした取り組みを推進し、核兵器廃絶と恒久平和に向けた啓発運動に努めたいと考えている。核兵器廃絶平和都市宣言の看板は、竜王庁舎増築工事の完了後に1か所設置する方針でいる。



平成21年度 山梨反核 平和の火リレー (市役所竜王庁舎前)

**保坂** 県の産業集積促進事業により県で8,773万円、市で1,700万円余りを助成して誘致した企業の2008年12月の

社員の解雇については、現在、和解協議が継続中であるが、本件に対する市の対応は。

**市長** 訴訟問題であり、答弁は難しいが、市が誘致した企業であるので、和解の成立を願うところである。

市長 ▶ 市が誘致した企業であり和解の成立を願う

### 甲斐市誘致企業の社員解雇についての対応は

### 国民健康保険税を1世帯あたり1万円引き下げるのに必要な金額は

市長 ▶ 約1億円の資金が必要である

**樋泉** 国保税は、失業・減収・病気・倒産に追い込まれている市民の生活実態を分析し引き下げるべきではないが。また、保険証の取り上げは中止すべきであり、資格証明書や短期保険証の対象者を減らすための対応は。

**市長** 国保税は、国・県などの補助金、市からの繰入金を除いた経費を被保険者に負担していただく制度で、医療費が増えれば下げることができず非常に厳しい財政状況となっている。また、資格証明書などの発行は、滞納者対策実施要領により運用しているが、個々に応じた納税相談を行っている。

### 中学生までの医療費無料化を

市長 ▶ 今年度の小学生までの実績を検証した上で検討する

**樋泉** 今年4月から小学生6年生までの医療費無料化が実施されているが、家計の苦しい状況や子育て支援の立場から、将来を見据えて中学生以下を対象とすべきである。

**市長** 中学生までの医療費無料化は、今年度以降の事業実績を検証した上で検討する考えである。



平成21年4月から小学生まで拡大された「こども医療費助成事業」

### 市営住宅「入居基準」の連帯保証人の条件を緩和せよ

市長 ▶ 連帯保証人は必要であり維持する考え

**樋泉** 保証人を立てられない入居者もいるため保証人をすべて廃止とするか、または、特別な事情がある場合は不要とするなどの対応を。

**市長** 保証人は必要であり維持する考えであるが、保証人の住所要件は実情を見ながら検討する。



樋泉 明広 議員  
日本共産党甲斐市議団

### その他の質疑

**樋泉** 入札の予定価格や総合評価(価格だけでなく技術力やノウハウといった価格以外の要素を含めた)落札方式は、入札執行の公正・公平・透明性に効果があるのか。

**市長** 今後も双方の試行を重ね、より品質の高い公共工事の確保に努める考えである。

# 広域事務組合報告

## 中巨摩地区広域事務組合

平成21年9月28日開催

### 《おもな内容》

平成20年度決算（歳出）

- 一般会計 3,978万円
- ごみ処理事業特別会計 19億1,253万円
- 地区公園事業特別会計 803万円
- 老人福祉事業特別会計 3,087万円
- 勤労青年センター事業特別会計 4,820万円
- し尿処理事業特別会計 3億2,958万円

## 山梨県後期高齢者医療広域連合

平成21年10月21日開催

### 《おもな内容》

平成20年度決算（歳出）

- 一般会計 5億8,197万円
- 後期高齢者医療特別会計 704億571万円

## 峡北広域行政事務組合

平成21年10月26日開催

### 《おもな内容》

平成20年度決算（歳出）

- 一般会計 5,759万円
- 常備消防特別会計 11億953万円
- ごみ処理特別会計 12億3,719万円
- し尿処理特別会計 7,508万円
- 峡北ふるさと市町村圏特別会計 839万円



## 議会だよりの表紙写真を募集しています！

あなたの撮ったカラー写真で表紙を飾ってみませんか。  
市内で撮影した子どもたちが元気に遊ぶ姿など生活感・季節感のある作品をお待ちしています。

### 規 格

- ①カラー写真に限定。
- ②撮影者自身に著作権のある未発表・未公開のオリジナル作品。（他の写真展などで入選された作品等のご遠慮ください。）
- ③プリントしたものはL判以上のもの。
- ④デジタルカメラの場合は200万画素以上のもの。（データで提出願います。）

### 応募方法

作品には撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所、撮影年月日、作品タイトルおよび写真の説明を添えてお送りください。

### 審 査

応募された作品のなかから、議会だより編集委員会が厳正な審査のうえ決定します。

採用された作品は23号（平成22年4月25日発行予定）の表紙に掲載。  
人物が明らかに特定できる場合、応募前に必ず本人の了承を得てください。  
応募作品は原則としてお返しできません。  
詳細は甲斐市議会ホームページ、または議会事務局へお問い合わせください。

### 締め切り

平成22年4月2日（金）到着分まで

### 送付先

〒400-0192  
住所：甲斐市篠原2,610番地  
宛先：甲斐市議会事務局 庶務・議事担当  
TEL：055（278）1673（直通）  
E-mail：gikaijimukyoku@city.kai.lg.jp



## 教育の情報化推進として「情報教育推進計画」の策定を

### 教育長「創甲斐教育推進大綱」で具体的な推進計画を検討する

**保坂** 双葉東小学校の全クラスに電子黒板が導入されたが、教員の情報教育に関する研修の取り組みは。また、IT教育支援アドバイザー事業の実施計画は。

**教育長** 毎年実施している研修会で、今後は電子黒板の研修を進める。また、アドバイザー事業は、今後、調査研究をしたい。

●その他の質問内容  
情報モラル教育の推進を



「竜王スポーツセンター」での筋力トレーニングの様子

## 学校・保育園の芝生化により、子どもたちに「より良い環境」を

### 市長▶メリット・デメリットなど検証し、どこまで進められるか判断する

**保坂** 市内の小中学校、保育園などの芝生化に対する取り組みは。また、今後の計画は。

**市長** 現在、小学校3校、保育園1園、幼稚園1園が芝生化され維持経費などの検証を行っている。また、（仮称）志麻の里防災公園に芝生広場を設置する計画であり、学校は、社会体育施設で夜間開放していることから今後、検討を要する。

## 介護予防事業の充実を

### 市長▶行政・地域・家庭が一体となった体制づくりに努める

**保坂** 私たち公明党は、生き生きと暮らせる幸福な高齢社会を目指して、この11・12月に介護問題総点検運動を行っている。本市の認知症対策の現状と今後の取り組みは。

**市長** 認知症サポーターの養成に取り組んでおり、現在420名の方々が活動している。

**福祉保健部長** 本市の認知症サポーターの目標は600名と試算しており、今後も養成に努める。

**保坂** 高齢者が安心して暮らせる住まい整備として、全市営団地の階段に「手すり」の設置を。

**市長** 手すり未設置の双葉の田畑団地、敷島の川辺町団地は、居住者のご意見を聞き段階的に対応する。

### その他の質問内容

- 高齢者の筋力トレーニング事業の推進を
- 家族介護者の生活支援を
- 小規模多機能型居宅介護施設増設を



保坂 芳子 議員  
公明党

# 市民の声



## 議会傍聴記

藤川 恒幸  
(万才)

先般の12月定例市議会の一般質問の2日目を傍聴いたしました。傍聴席には、すでに数名の方がおられ、そのほとんどは高齢者の方ばかりでした。平日のためか、仕事の関係か、議会に関心がないのか、傍聴者の少ないのに失望いたしました。議会は、傍聴しやすいように平日、休日を含めて議事日程を定めてもよいのではないかと感じました。一般質問は、一問一答方式を採用されていて、分かりやすく、当局の答弁も懇切丁寧でよろしかった。ただ、議場のマイクの音が小さく聞こえにくかったので、もう少しボリュームを上げて欲しいと思いました。

議員さんの質問内容もよく研究されているようで、当を得たものが多く、経済、生活、雇用対策をはじめ、子どもの安全・安心、教育から市民の福祉・医療の問題まで、当面の重要課題を真剣に質疑する様子を拝聴いたしました。特に私たちが、忘れてはならない核兵器廃絶と世界平和の問題を取り上げた議員さんの質問が印象的でありました。

今議会の傍聴の機会を得られたことは、非常に勉強になりました。これから国の地方分権改革の問題は、甲斐市においても避けて通れない重要課題であり、市議会の役割は、極めて重要だと思います。議員さん各位におかれましては、市の将来の方向を的確に把握され、市民福祉の向上に反映されますように、積極的に政策を提言されますよう、ご活躍を期待いたします。



## フンに憤慨

清水 吉久  
(玉川)

午前6時、東天が明るみ、ピンと張りつめた冷気が全身を包む。3匹の愛犬は、元気だ。「さあ今朝も散歩に行くか」と声を掛けて門を出る。犬の息が白いが、梅もほころび春を感じる。寒いけど気分は、爽快、心地よい。

でも、その気分を大無しにしてしまうことがある。犬のフンが落ちているのだ。いたる所に散乱している。道にも田畑にも民家の敷地内にも放置してある。非常識の極みだ。土がかけてあるのも多く、これでは、処理したのではなく、ただ見えないようにしただけで、不愉快を感じます。

なぜ、飼い主の責任で処理しないのであろうか。ちょっとした心づかいで気持ちよく過ごせるのに、とても許せる行為ではない。市でも看板を設置して注意を促しているが、改善される様子はみえない。専用の処理袋が売られている。缶ビール1本の値段で1か月分の処理袋が買えるので、どうか処理を心がけてほしいものです。

飼い主よ、「あなたの家の前や庭にフンが落ちていたら嬉しいですか?」、「家族がフンを踏みつけたら楽しいですか?」みんなでマナーを守っていきましょう。

でも、「これからも駄目なのかな?」、「意識向上は無理なのかな?」とも思ってしまう。「でも、話に聞くパリの街より、まだマシか!」などと思いつつも毎朝、フンに憤慨している私である。

## 議会を傍聴してみませんか!

- 平成22年第1回定例会は、3月1日(月)から19日(金)まで、一般質問は8日(月)・9日(火)を予定しています。お気軽にお越しください。(定員51名)
- 詳しくは、市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。  
TEL (055)278-1673  
ホームページアドレス  
<http://gikai02.kaigiroku.jp/kai/>

### 議会だより編集委員会

委員長	坂本 一之	委員	保坂 芳子
副委員長	池神 哲子	委員	中込 助雄
委員	込山 伸一	委員	樋泉 明広

【池神 哲子 記】

議会だよりNo.16号から担当した本編集委員での発行は、残すところ次回(No.23号)が最終号となります。平成21年度当初から紙面変更の検討を行い、定例会・臨時会や一般質問・代表質問など掲載方法を少しずつ見直してきました。近頃では、表紙写真の応募も増え、市民の方々から「議会だよりが変わった」とか、「見やすくなった」などの声も寄せられています。  
今後もし読みやすく、読者に親しまれるような改善に努力を重ねてまいりますので、引き続きのご愛読をお願いいたします。

## 編集後記